

平成 27 年 6 月 京都府

地域医療を支える医療人材の確保について

【担当省庁】厚生労働省

地域の医療人材育成努力を踏まえた定数配分について

京都府の平成 28 年度の医師臨床研修医定員については、大幅に減少することが懸念されたが、京都府の要望を踏まえ、激変緩和措置など特段の配慮をいただいたところである。

京都府では、オール京都体制で、各臨床研修病院の質の高い魅力あるプログラムによる医師の育成・確保の取組を進め、マッチング定員に対する充足率 95.5%（全国 1 位）を達成している。また、国から財政支援を受けることなく年間約 100 億円を投入して京都府立医科大学を運営している他、京都大学においては全国にベテラン指導医を派遣するとともに、国家的見地から国際的な医学研究を推進するなど、広域的な医療の質の向上に貢献してきたところである。

本府の定員を機械的に減らすことは、こうした地域の努力を損なうだけでなく、各大学の医師派遣能力の低下や医学研究環境の後退、ひいては全国的な医療の質の低下などの重大な影響を及ぼしかねない。

については、こうした京都府の取組やマッチング定員に対する充足率などを評価した上で、地域の医療人材育成努力を踏まえた定数配分方法へ見直しするとともに、見直しまでの間の現行特例措置の維持にご配慮いただきたい。

【現状・課題等】

2 次医療圏毎の人口 10 万人当たり医師数

【厚生労働省試算による京都府の定員】

27 年度定員 271 人



28 年度定員 265 人
(6 人。削減率 2.2%)

* 28 年度は、**プラス 16 人の 265 人を確保**
(29 年度は 250 人を下回る見込み)

医療施設従事医師数の推移

	平成14年	平成24年	-	÷
京都府北部	630	589	41	93%
その他	6,181	7,200	1,019	116%
合計	6,811	7,789	978	114%

臨床研修医定員と受入実績の推移

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
定員	349	291	293	291	283	285	271
受入実績	263	247	272	237	266	254	257

臨床研修医制度見直し（医道審議会医師分科会医師臨床研修部会報告書から抜粋）

「研修希望者に対する募集定員の割合を縮小」（H26の1.237倍から、H27は1.2倍、次回見直し(H32)に向け徐々に1.1倍）

京都府立医科大学と同規模の国立医大・私立医大の国庫補助金比較（百万円）

	定員	国庫補助金
京都府立医大	630	-
国立医科単科大（一例）	約600	6,144
私立医科単科大（A大学）	約700	1,743
私立医科単科大（B大学）	約650	1,761

（平成20年度決算額調べ）

府立医大地域枠学生数（卒後附属病院で研修、H26附属病院定員64）

臨床研修開始年度 （入学年次）	H26(H20)	H27(H21)	H28(H22)	H29 (H23)	H30 (H24)	H31 (H25)
地域枠学生	3	5	7	6	7	7

京都府立医科大学附属北部医療センターにおける医師派遣状況

	24年度	25年度	26年度
派遣回数	466回	1,260回	3,128回
<p>・派遣先 久美浜病院（整形、眼科、麻酔） 弥栄病院（小児、精神、循環器、外科） 伊根町立診療所（内科、整外、眼科） 舞鶴医療センター（産婦、皮膚） 福知山市民病院（産婦、放射、眼科、整外） 綾部市立病院（産婦、呼外、整外） もみじが丘病院（精神） 等</p> <p>・附属化後の充実等 （新規）もみじが丘病院（精神科） （充実）久美浜病院整形外科・麻酔科、綾部市立病院呼吸器外科・整形外科、 福知山市民病院整形外科、舞鶴医療センター皮膚科</p>			